

決 意 表 明

私達、専門工事業者は、「大成建設ハウジングの家」づくりに参加し、大成建設ハウジング本部、大成ハウジング富山の指導のもと、絶えず、品質の向上並びに災害防止に努めてまいりました。

昨年の大成建設ハウジング関連の災害を見ますと、これまで災害防止の重点目標にしてきた墜落落下型災害が少なからず発生しています。その中でも高齢者による墜落は、大きな災害に至る可能性が多分に考えられます。重大災害は起こしてはならない災害であり、防ぐことができます。また、昨年も切れこすれ型の災害も多く、その原因も作業員の安全軽視、安全意識の欠如による不安全行動に起因するものが多かったことは否めません。

今こそ、作業員自身が「安全は自分で守る」との強い気持ちを持ち、安全の基本を忠実に守って作業することが大切です。その為には、事業主が「送り出し教育」を確実に実施すると共に、積極的に自社現場のパトロールを行い、作業員に直接、教育指導することが安全意識のレベルアップに欠かせません。また、現場へ入場した時には、「声かけ運動」によるコミュニケーション活動、「イラスト点検」による「安全点検」を、当たり前のように実施できるように熱意を持って根強く参加、実施しなければなりません。

ここに私達、専門工事業者は、大成建設ハウジングの定める安全衛生環境基本方針である、「安全第一主義」のもと、全社が「全ての災害は防ぐことができる！」を実践し、「死亡災害ゼロの達成」に全力を挙げて邁進することを決意します。

平成二十三年二月八日

大成ハウジング富山(株)

安全衛生環境協力会

会長 秋山 孝夫